

令和6年度 指定管理者 評価報告書

No.	36	評価区分	II 観光施設、産業振興施設
施設名	飛騨市肉用牛繁殖センター(飛騨河合飛騨牛繁殖センター、保管庫)、万波牧場	所管課	畜産振興課
指定管理者	株永吉	地域名	河合町、宮川町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市河合町元田500番地1、河合町元田1番地4、宮川町万波字中ノ俣401番地106		
設置目的	地産肥育素牛の安定供給を行うことにより、飛騨市産牛の銘柄化を図り、畜産経営の安定と振興に資する。 放牧地及び採草地の維持管理を適正に行うことにより、草地の生産力の促進及びその荒廃を防止し、併せてそこに家畜を放牧することで畜産経営の改善を図り、畜産の振興に資する。		
施設の概要	飛騨牛肥育素牛生産施設、採草放牧施設		

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成21年7月	募集の方法	地域条件付き公募
評価年度の属する指定期間	令和6年度～令和10年度(5年間)		
利用料金制	有り		

3 職員の配置

配置人員	常勤	4人
	非常勤	3人

4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(頭)	163	165	204	117
前年度増減比(%)		1.2%	23.6%	-42.6%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
販売頭数 160頭	販売頭数 117頭(73%)

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段		件数	件
その他の方	手段	聞取り	件数	0 件
利用者等からの意見と対応	要望・意見・苦情		対応	
指定管理者に対する意見	(1) (2) (3)			
市に対する意見	(1) (2) (3)			

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
地元住民との交流会	年1回元田住民に対し、施設の状況報告

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
生産子牛を子牛市場へ出荷 耕畜連携により地元産粗飼料を使用する	生産子牛は飛騨・関子牛市場に全頭出荷されている 米の価格高騰が耕種側の生産判断に影響し、民間との耕畜連携は出来ていない

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
繁殖雌牛管理受託事業	管理を受託することにより収益の増加を図っている。

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
なし	

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	119,106	122,287	143,512	86,305	
指定管理料					
利用料金					
純売上高	104,733	106,197	120,175	66,860	
その他	14,373	16,090	23,337	19,445	補助金,自主事業
支出	120,723	132,539	139,136	92,268	
売上原価				60,948	その他管理費より組替え
人件費	21,156	19,236	19,869	16,670	
光熱水道費	4,243	5,907	4,942	3,219	
設備保全費	15	48	12	74	
修繕費	2,357	5,879	4,135	971	
備品消耗品	1,096	1,221	533	114	
清掃費					
その他管理費	86,451	94,827	100,351	4,519	
運営費事務費	4,620	4,544	4,959	4,955	
その他	785	877	4,335	798	
指定管理業務収支	△ 1,617	△ 10,252	4,376	△ 5,963	
自主事業収支					
全体収支	△ 1,617	△ 10,252	4,376	△ 5,963	
備考	前指定管理者	前指定管理者	前指定管理者		

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
経済価値の低い、高齢牛の淘汰更新	高齢牛更新支援事業(市単補助事業)を活用し、若い繁殖雌牛に更新した

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
飼料費の削減に努めている	稻WCSの自主生産 安価な国産飼料の導入

14 指定管理者の評価

指定管理者の自己評価

大項目	評価	前年	評価に対する内容
指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価			
大項目	評価	前年	評価に対する内容
平等利用の確保(10)	c (4)	△	特定の肥育農家でなく、地元高山市場へ出荷し購買事業に係る公共性を保っている
施設の効用の発揮(25)	b (19)	△	200頭という飛騨市トップの子牛生産施設を、効率的に活用が出来ている
安定した管理能力(20)	c (10)	△	センター職員の飼育技術は飛騨地域でもトップクラスで、社長を中心としたまとまりが見られる
経費の縮減(20)	c (10)	△	米価高騰で耕畜連携が難しい中、国内全体の粗飼料価格を調べつつ調達しており、飼料費削減に努めている
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	b (19)	△	飛騨市内の良質堆肥づくりに協力してもらっている(吉城コンポ)
総合評価	C+ (62)	△	設立1年目の会社だが、個々の飼養管理技術が高く、飛騨市子牛生産の基幹施設としての効率的活用が出来ている